

市町
職員対象

新人初級研修

(令和元年度 35名参加)

★研修目的

建設行政に携わる職員としての意識の確立を図るとともに、コンクリート構造物・工事監督・積算の基礎知識を習得するほか、現場見学や測量から積算に至る実習・演習を通じて職務を適切に遂行する能力を養う研修です。

★日程

令和元年5月29日(水)～5月31日(金)

★満足度



★研修参加者の声

☑3日間でコンクリート材料・積算・測量と土木工事には必須の事について基礎から学べ、有意義な時間となりました。これからの実務を行う上でイメージが湧き業務の理解や習熟に大いに役立つと思います。

☑監督員として必要な知識を身に付けるのに非常に良い研修でした。他の自治体職員の方と一緒にすることで新たな交流等がありました。



※ 令和2年度の新人初級研修は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、カリキュラムを一部録画配信しました。(Web受講：47名)

県・市町
職員対象

災害復旧研修

(令和元年度 137名参加)

★研修目的

公共土木施設の災害発生時の応急対応及び災害復旧事業や改良復旧事業等の採択に向けた的確な調査・設計等、災害査定に必要な基礎知識の習得を図る研修です。

★日程

令和元年6月19日(木)

★満足度



★研修参加者の声

☑災害復旧事業に関わる枠組みの概要、またそれぞれの事業の補助率及び事業としての成立のためのポイントについて理解でき、有意義な講義となった。

☑応急工事の申請等、事例を踏まえた説明で、今後の参考となった。

☑被害の内容から、復旧に至るまで事例を聞くことができて良かった。



※ 令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止しました。

県・市町
職員対象

土地区画整理研修

(令和2年度 18名参加)

★研修目的

土地区画整理事業に携わる職員としての意識の確立を図るとともに、土地区画整理事業のしくみ、土地区画整理事業の土地評価及び換地計画に関する講義などにより、職務に必要な基礎知識を習得し、実務能力の向上を図る研修です。

★日程

令和2年6月26日(金)

★満足度



★研修参加者の声

☑用地買収ではなく、換地手法で行う事業の特徴や土地区画整理組合のあり方など理解できた。減歩率の計算などとても参考になった。

☑土地区画整理事業の助成制度について、市町に良い制度があることが理解できた。

☑土地評価は理解するのに時間はかかったが、演習して行くとスムーズに問題を解くことができた。



おかげさまで
設立 **25** 周年

令和3年度 研修案内

CTC 兵庫県まちづくり技術センター



<https://www.hyogo-ctc.or.jp/digitalbook>

NEW!
業務案内2021
デジタルブックでご覧いただけます



令和3年度 研修実施コース一覧

■ 階層別技術研修（県職員）

人数：（上段）は募集人数 下段は参加人数

部門	研修コース	日程	会場	人数	対象者	研修目的
県職員階層別研修	新規採用職員研修（前期） 【リモート】	5月13日～5月14日	—	（28人） 28人	県職員	新規採用された総合土木職員を対象に、技術公務員の仕事、土木基礎知識、積算システムの概要等により基礎知識を習得する。
	新規採用職員研修（後期）	7月7日～7月14日	中央労働センターなど	（28人） 28人	〃	新採研修（前期）終了後、事業の概要（道路、河川、水防活動他）、工事成績評定、設計変更のポイント、積算システム操作演習、現地設計実務演習等を研修することにより、実務能力を養う。
	フォローアップ研修（前期）	6月24日～6月25日	中央労働センター	（30人） 29人	〃	採用2・3年目の総合土木職員を対象に、土庄、斜面安定・業者（工事）指導のポイント、成績評定の実務（査査項目別運用表）、工物品質管理と監督検査等の研修を行い、技術力の向上を図る。
	フォローアップ研修（後期）	10月14日～10月15日	—	（15人）	〃	採用3・4年目の総合土木職員を対象に、公共事業を取り巻く環境、成績評定（施工プロセスチェック）、総合交付金の制度、建設業法、課題解決、土木建造物の不具合及び確認方法等について研修し、技術力の向上を図る。
	中級研修（6年目）	8月26日～8月27日	—	（15人）	〃	採用5年目、6年目の総合土木職員を対象に、品確法・工事監理ポイント、設計書作成のポイント、成績評定の実務、公物管理事務、ダム管理・地元説明会（企画・演習）等について研修し、土木技術の専門知識を習得する。
	中級研修（5年目）	11月11日～11月12日	—	（15人）	〃	
	主任研修【リモート】	6月10日～6月11日	—	（13人） 12人	〃	主任に昇格した総合土木職員を対象に、都市計画制度、公共事業を取り巻く環境、建設業法・現場研修、積極的広報、入札契約制度、受注者指導、演習（課題解決）等について研修し、職場の中心的役割を担うための知識を習得する。
	主査研修	11月26日	—	（約20人）	〃	主査に昇格した総合土木職員を対象に、公共事業を取り巻く環境、主査の役割・求められる能力、設計書作成及び工事書類確認のポイント、会計検査等について研修し、主査として業務を進めるための知識を習得する。
主幹・課長研修【オンデマンド】	4月26日	—	（約38人） 36人	〃	監督職に昇格した総合土木職員を対象に、公共事業を取り巻く環境、工事検査、工事中の安全対策、積極的広報、不当要求事例と対処方法、監督職としての心得等について研修し、監督職としての見識と監理能力の向上を図る。	

※兵庫県と共催

■ 階層別技術研修（市町職員）

市町建設事業担当職員研修	新人・初級研修【オンデマンド】	6月14日～6月30日	—	（30人） 90人	市町職員	建設事業の経験が概ね3年以内の職員を対象に、担当者の仕事、土木工事の監督基礎、コンクリート構造物の基礎知識とインフラメンテナンス、土木工事の積算演習、測量実習、現場研修を行い、職務に必要な基礎知識を習得する。
	中級研修【オンデマンド】	6月25日～7月9日	—	（40人） 77人	〃	建設事業の経験が概ね10年程度の職員を対象に、公共工事の品質確保、会計検査、適正な契約（官製談合防止）について研修を行い、公共事業の適正な執行に関する知識を習得する。
	災害復旧実務研修（基礎コース）【オンデマンド】	8月27日～9月10日	—	（40人）	〃	災害復旧事業の経験がなく、河川・道路事業の実務経験が浅い市町職員を対象に、災害復旧事業に関わる基礎知識を習得する。
	災害復旧実務研修（実務コース）Ⅰ期	7月2日	学校厚生会館	（40人） 29人	〃	災害復旧の実務経験が3年程度の市町職員を対象に、2日間の日程で、災害査定設計書作成における留意事項や模擬査定等の基礎知識の習得、被災した公共土木施設の現場での被災メカニズムの把握やボール横断測量などを行い、災害に対応する実務能力向上を図る。
	災害復旧実務研修（実務コース）Ⅱ期	10月22日	—	（40人）	〃	
	現場監督員実務研修	12月3日	—	（15人）	〃	建設事業の経験が概ね5年程度の市町職員を対象に、コンクリートの施工管理、工事検査、コンクリートの受入検査実習の研修を行い、現場監督員として必要なコンクリートの知識を習得する。 [アスファルト編との隔年実施]

■ 専門分野別技術研修（建設）

専門分野別研修	道路計画演習	6月22日	県民会館	（40人） 45人	県職員 市町職員	道路の基本条件の考え方や演習、道路線形に関する考え方や演習、道路計画演習を行い、道路計画の立案、設計についての基本的技術を習得する。
	支持力計算演習（初級コース）	7月8日	〃	（40人） 49人	〃	地盤調査の基礎を中心に、調査結果の設計への適用や直接基礎を中心とした簡易な計算演習により、支持力計算等の基礎知識を習得する。
	仮設構造物設計演習	7月16日	〃	（40人） 48人	〃	設計法の概要と地盤調査、設計外力と例題解説、自立式土留め工の設計計算演習、掘削底面の安定と地下水対策、周辺構造物への影響検討を通じて、設計のポイントと施工上の留意点等について理解を深める。
	災害復旧【リモート】	7月28日	（※）3会場	（150人）	県、市町職員 防災エキスパート	災害復旧制度、災害査定実務、災害復旧事業の留意点、特殊災害の研修により、災害実務に関する基礎知識を習得する。
	砂防	7月30日	学校厚生会館	（40人）	県職員	砂防事業に関する知識、砂防施設等の設計のポイント等の研修により、砂防に関する基礎知識を習得する。

（※）3会場：神戸三宮研修センター 姫路じばさんビル 朝来）ジュピターホール

■ 専門分野別技術研修（建設）

人数：（上段）は募集人数 下段は参加人数

インフラ・メンテナンス研修

部門	研修コース	日程	会場	人数	対象者	研修目的
専門分野別研修	As舗装修繕・設計演習【リモート】	8月4日	（※）3会場	（80人）	県職員 市町職員	舗装の施工及び施工管理、舗装の維持補修と工法の選定、T A法によるAs舗装設計演習の研修を行い、施工及び施工管理の留意点等について理解を深める。
	交差点計画演習	8月11日	県民会館	（40人）	〃	交差点計画と設計の進め方、交差点計画の留意点、交差点計画（設計）演習を行い、交差点計画の基本的技術を習得する。
	構造物（擁壁）設計演習	8月19日	〃	（40人）	〃	構造物設計のポイント、重力式擁壁及び逆T式擁壁の安定計算、擁壁設計におけるミス事例の研修を行い、擁壁設計に必要な基本的技術を習得する。
	土木機械設備（河川・海岸）	8月27日	〃	（40人）	〃	土木機械設備の概要、排水機場の施設構成、維持管理と故障対応、東浜排水機場の概要、工事検査の心構えの研修により、機械設備に関する基礎知識を習得する。
	支持力計算演習（中級コース）	9月9日	〃	（40人）	〃	土質定数の考え方や支持力計算、直接基礎・杭基礎をテーマにした支持力計算演習を行い、設計に必要な地盤情報（土質定数）と支持力計算等について理解を深める。
	P C 橋	10月6日～10月7日	〃	（40人）	〃	プレストレスト・コンクリート橋（P C 橋）の基本と橋梁形式について解説するとともに、P C 橋の設計演習及び維持管理演習を通じて、P C 橋に関する基礎知識を習得し、実務能力の向上を図る。
	コンクリート構造物の施工と維持管理【リモート】	10月8日	（※）3会場	（80人）	〃	コンクリートの基本的性質、施工管理の要点、調査診断、補強における設計・施工の留意点、構造物の劣化原因とその影響の研修により、施工から維持管理までの一連の基礎知識を習得する。
	地盤調査（切土・盛土設計）	10月14日	県民会館	（40人）	〃	構造物設計に必要な地盤調査の計画と結果の評価、圧密沈下計算演習、斜面の安定計算演習により、基本的知識を習得する。
	地盤調査・土質試験実習	10月15日	—	（40人）	〃	ボーリング作業実施研修、柱状図作成演習、土質試験実習、土質試験結果の品質と利用方法の研修を通じて、調査・試験方法や試験結果に対する理解を深める。
	ドローンを活用した災害調査（Ⅰ期）	10月下旬	—	（20人）	〃	災害を想定した現場において実機による写真測量を行い、災害現場でドローンを活用した災害調査の実務能力を習得する。
	ドローンを活用した災害調査（Ⅱ期）	12月中旬	—	（20人）	〃	
	橋梁メンテナンス	11月上旬	—	（15人）	県職員	道路橋の構造、劣化損傷橋梁体験実習、道路橋点検の着眼点、損傷事例と補修対策に関する研修を行い、維持管理に必要な点検技術を習得する。
	河川講習会（維持管理）	11月中旬	—	（15人）	〃	兵庫県河川維持管理計画、樋門・樋管の維持管理、河川管理施設の維持管理点検の研修により、実務に関する基礎知識を習得する。
	下水道	11月下旬	—	（40人）	県職員 市町職員	下水道事業の概要、管渠・施設のストックマネジメント計画の策定手法、雨水対策手法、下水道事業におけるB C P 計画の策定手法、機械・電気設備の維持管理を研修し、施設に関する基礎知識を習得する。
水道	12月上旬	—	（40人）	〃	老朽化が進む水道施設の整備計画、資産管理の知識向上を図り、施設更新、将来の水需要に対応する施設の最適化に備えた技術力を習得する。	
公共測量	2月中旬	—	（40人）	〃	公共測量の実務と留意事項、公共測量の成果検定等の研修により、公共測量の品質確保に必要な基礎知識を習得する。	
道路橋メンテナンス	（調整中）	—	（50人）	市町職員	兵庫県道路橋定期点検要領（市町版）に基づく講義と点検実習、損傷事例と補修対策に関する研修を行い、維持管理に必要な点検技術を習得する。	
I C T 施工	（調整中）	—	（30人）	県職員 市町職員	I C T 工事の監理ポイント、工事検査についての研修により、I C T 活用工事の発注者として必要な基礎知識を習得する。	
河川講習会（計画）	（調整中）	—	（40人）	〃	入門河川計画（基本高水）、みお筋・瀬と淵の保全を踏まえた河川計画の作成、多自然川づくりの事例の研修により、河川計画の基礎知識を習得する。	

（※）3会場：神戸三宮研修センター 姫路じばさんビル 朝来）ジュピターホール

■ 専門分野別技術研修（まちづくり）

まちづくり	担当職員研修	6月25日	学校厚生会館	（40人） 30人	県職員 市町職員	土地区画整理業務に携わる職員を対象に、区画整理をめぐる最近の話題、区画整理のしくみ、換地設計、換地計画のしくみ、事例紹介等に関する研修を行い、基礎知識と実務能力の向上を図る。
	まちづくり研修	11月下旬	—	（30人）	〃	まちづくりに携わる職員を対象に、参画と協働による地域のニーズに対応したまちづくりや地区事例（講義と現地視察）を通じ、基礎知識と実務能力の向上を図る。

- ・新型コロナウイルス感染症の状況により、開催日、開催方法（オンライン対応）、カリキュラム等を変更する場合がございます。
- ・最新情報は研修毎に送付される実施要領またはホームページをご覧ください。http://www.hyogo-ctc.or.jp